

令和2年度の学校評価

1 重点目標等

令和2年度の重点目標		<p>1 基礎的・基本的な知識及び技能、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、そして主体的に学習に取り組む態度をバランス良く育成する効果的な学習指導を実施すること及びキャリア教育を一層推進することにより、生徒の学力向上及び進路実現を目指す。</p> <p>2 生徒一人ひとりに丁寧にに関わりながら、生徒の特性を的確に把握し個に応じた指導を実現する。</p> <p>3 より積極的かつ組織的に情報を発信することにより、中学校やその保護者、地域の人々をはじめとする本校への県民ニーズに応える。</p> <p>4 各教員が健康的に教育活動に従事できる環境を整えていく。</p>	
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
授業改善、キャリア教育等の推進	安全・安心な学習環境を生徒自ら整える態度を育成し、授業改善、キャリア教育等とおして生徒の学力向上及び進路実現を図る。	<p>ア 対話的な授業展開を推進し、多様な見方・考え方のあることに気づかせ、異なる意見を互いに尊重する態度を定着させる。</p> <p>イ 集団指導と個別対応の両面から学校生活の安全、生徒の意欲向上を図る。</p> <p>ウ 授業を中心とした丁寧な学習指導により、基礎的・基本的な知識の習得を促す。</p> <p>エ 生徒自らの学習計画に従い、主体的な学習に取り組む態度を育成する。</p> <p>オ 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた研究授業を充実する。</p> <p>カ 「総合的な探究の時間」が有効的なキャリア教育と結びつくよう、内容の改善・研究に取り組む。</p> <p>キ オープンキャンパスやインターシップへの積極的参加を促す。</p> <p>ク 進路ガイダンス等の年間指導計画に沿ったキャリア教育を実践する。</p> <p>ケ 個人面談を通して進路意識を向上させる。</p> <p>コ 高大接続改革への対応を進める。</p>	<p>ア 挨拶の励行、授業時間内における発言や反応についてモラルやエチケットを指導する。</p> <p>イ 教育相談、学校いじめ防止対策組織を効果的に機能させる。</p> <p>ウ 一斉授業の中にも個々の習熟度に応じて手立てを講じ、学習力を伸ばす。指導と評価の一体化を進める。</p> <p>エ 手帳型教材を活用し、長期的な学習計画を立てさせる。</p> <p>オ 新学習指導要領を踏まえた研究授業から改善を進める。</p> <p>カ 学年、教務部、進路指導部、生徒指導部を中心に内容の改善に取り組む。</p> <p>キ 事前及び事後指導をさらに充実させる。</p> <p>ク 手帳型教材を活用し、事前準備と振り返りを充実させる。</p> <p>ケ 進路指導やポートフォリオの蓄積を確認する。</p> <p>コ 情報を収集する。決定事項について対応を進める。</p>
豊かな人格形成	学校行事、部活動、清掃活動、読書活動等とおして集団における望ましい行動様式を身につけ、読解力やコミュニケーション能力を高める。	<p>ア 生徒主体の学校行事運営、部活動運営を行う。</p> <p>イ 中学校や地域と部活動での連携を行う。</p> <p>ウ 清掃活動を充実する。</p> <p>エ あらゆる教科指導の中で、読書に向かうきっかけを与える。</p>	<p>ア 生徒会活動の活性化を促す。部活動運営方針に基づき適切に部活動運営を行う。</p> <p>イ 合同での活動ができるような態勢を整える。</p> <p>ウ 目的や目標を明確にし、協力的、主体的に取り組ませる。</p> <p>エ 教員も読書に親しむ。</p>
開かれた学校づくり	開かれた学校づくりをおして本校への県民ニーズに対応する。	<p>ア 広報活動を充実する。(HP、リーフレット、碧高ニュース)</p> <p>イ 学校と連携したPTA活動を実施する。</p> <p>ウ Kプロジェクトの継続実施。</p>	<p>ア より分かりやすい表現でタイムリーに更新・発行する。</p> <p>イ 行事の時期や内容に改善を加える。</p> <p>ウ 総合ビジネス科始め各部活動の取組継続と、全校生徒が選択しやすい取組を開発する。</p>
多忙化解消及び不祥事防止	多忙化解消を進める。不祥事を防止する。	<p>ア 情報共有と協働によって効率化を図り、業務のスリム化を検討する。</p> <p>イ 折に触れて研修を行い、不祥事のない教育活動を行う。</p>	<p>ア 意見交換しやすい職場環境をつくる。</p> <p>イ 日常業務の中で何が体罰か、不祥事かを学ぶ。</p>
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<p>1 授業改善、キャリア教育等の推進</p> <p>2 豊かな人間形成</p> <p>3 開かれた学校づくり</p> <p>4 多忙化解消及び不祥事防止</p>	

2 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

令和元年度の 重点目標	<p>1 基礎的・基本的な知識及び技能、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、そして主体的に学習に取り組む態度をバランス良く育成する効果的な学習指導を実施すること及びキャリア教育を一層推進することにより、生徒の学力向上及び進路実現を目指す。</p> <p>2 生徒一人ひとりに丁寧に関わりながら、生徒の特性を的確に把握し、個に応じた指導を実現する。</p> <p>3 より積極的かつ組織的に情報を発信することにより、中学校やその保護者、地域の人々をはじめとする本校への県民ニーズに応える。</p> <p>4 各教員が健康的に教育活動に従事できる環境を整えていく。</p>		
項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
授業改善、キャリア教育等の推進	授業改善、キャリア教育等とおして生徒の学力向上及び進路実現	<p>ア 授業を中心とした丁寧な学習指導により、基礎的・基本的な知識の習得を促す。</p> <p>イ 生徒自らの学習計画に従い、主体的な学習に取り組む態度を育成する。</p> <p>ウ 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた研究授業を充実する。</p> <p>エ 「総合的な探究の時間」が有効的なキャリア教育と結びつくよう、内容の改善・研究に取り組む。</p> <p>オ オープンキャンパスやインターシップへの積極的参加を促す。</p> <p>カ 各種進路ガイダンスや大学模擬授業等の年間指導計画に沿ったキャリア教育を実践する。</p> <p>キ 個人面談を通して進路意識を向上させる。</p> <p>ク 高大接続改革への対応を行う。</p>	<p>ア 年間指導計画を適切にたて、授業改善や課題等を工夫して、基礎的・基本的な知識の習得を促すことができた。</p> <p>イ 手帳等を利用して、主体的に取り組む姿勢を育成できた。特に、短期的な学習では効果が上がっている。今後は長期的な学習計画を立てる力を養うことが必要である。</p> <p>ウ 各教科で研究授業を実施した。今後は新学習指導要領を意識して、意欲的にアクティブラーニングを実施するための研修を検討していく。</p> <p>エ 従前の方法を用いた。新課程において教科横断的な要素の検討が必要である。</p> <p>オ オープンキャンパスについては、「総合的な探究（学習）の時間」等を通じて、広く生徒に知らせ、見るべきポイント等も周知した。また、インターシップに普通科からも参加する生徒が増え、キャリア・ブリッジも含め、企業や上級学校を体験する機会を増やすことができた。来年度は、さらに早期から意識を高める工夫をしたい。</p> <p>カ 予定どおり実施し、キャリア形成について考える機会を与えた。大学模擬授業は高度な内容であるため、事前の取組が必要である。</p> <p>キ 各学年とも充実した個人面談を実施でき、生徒の進路意識が高まった。</p> <p>ク 高大接続改革に伴う新入試が不透明であり、対応に苦慮した。それでも、今後、各教科において、読解力を意識した授業が必要になることは間違いないと思われる。</p>
学校行事、部活動、清掃活動等の充実	学校行事、部活動、清掃活動等とおして生徒の心（思いやり、規範意識、人権感覚等）の育成	<p>ア 生徒主体の学校行事運営を行う。</p> <p>イ 部活動状況を積極的に広報する。</p> <p>ウ 中学校や地域と部活動での連携を行う。</p> <p>エ 部活動運営方針に基づき適切に部活動運営を行う。</p> <p>オ 生徒に挨拶を励行させる。（正門・昇降口指導、授業等）</p> <p>カ 人権講話等の機会を利用して思いやりの心を育む。</p> <p>キ いじめの未然防止に係る取組を充実させる。また、いじめの早期発見及び適切な対応を行う。</p> <p>ク 清掃活動を充実する。</p>	<p>ア 碧高祭を中心に、生徒主体で実施できた。</p> <p>イ 碧高ニュースやPTA会報等を通じて広報活動を行ったが、HP上でのPRは不十分な点がある。</p> <p>ウ 複数の部活動で中学校との交流を行った。</p> <p>エ 概ね適切に運営することができたが、競技によっては公式戦の日程が過密なものも見受けられた。</p> <p>オ 声に応じた挨拶はできる自分から先に挨拶をする意識づけが課題である。</p> <p>カ 言葉遣いを中心に人権講話を実施した。継続的な意識づけが課題である。</p> <p>キ いじめ及びSNS利用における人間関係のトラブルへの早期対応ができた。教職員に相談しやすい状況が作られているが、防止策をさらに充実させたい。</p> <p>ク 清掃道具の補充を行い、清掃活動が円滑におこなえるよう努めた。 教室内整頓など、教育環境の整備を自ら進めるよう指導した。</p>

開かれた学校づくり	開かれた学校づくりをとおして本校への県民ニーズの対応	<p>ア 広報活動を充実する。(HP、リーフレット、碧高ニュース)</p> <p>イ 学校と連携した PTA 活動を実施する。</p> <p>ウ 総合ビジネス科の HP を更新する。</p> <p>エ 碧南市の中学校への出前授業を実施する。</p>	<p>ア HP 以外は計画どおりに広報することができた。</p> <p>大学入試改革等については、文部科学省によって突然中止になり、広報には支障が出た。</p> <p>イ PTA 役員とは昨年度以上に密に連携を図った。</p> <p>ウ 総合ビジネス科のHPは更新した。</p> <p>エ Kプロジェクトの継続実施とあわせ、総合ビジネス科生徒による出前授業、職員による出前授業は効果がある。</p>
笑顔溢れる学校づくり	笑顔溢れる学校づくりをとおして教員の多忙化解消及び不祥事防止	<p>ア 教職員の多忙化解消のための取組を実施する。</p> <p>イ 不祥事のない教育活動を行う。</p>	<p>ア 前年度計画を実施し、効果面から見直しを図った。次年度の取り組みを検討した。</p> <p>イ 注意喚起、情報伝達及び、意見が言いやすい雰囲気醸成を進めた。</p>
総合評価	<p>重点目標を達成するために、各分掌・学年でさまざまな取組を進めた。学習指導やキャリア教育の推進を通して生徒の学習に対する意識を高め進路目標の早期設定を促すことで、生徒の進路目標の実現を図った。また、個別面談や教育相談を充実させることにより、個に応じた指導を進めることができた。</p> <p>次年度は、前年度の反省、課題に基づき、学習活動、学校行事への取組、部活動などのいっそうの充実を図り、活力にあふれ、魅力のある学校づくりを推進していきたい。</p>		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善、キャリア教育等の推進 ・学校行事、部活動、清掃活動等の充実 ・開かれた学校づくり ・笑顔溢れる学校づくり
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習姿勢に計画性や工夫がみられるようになった。 ・キャリア教育は、インターンシップの拡充、講話やガイダンス等の実施により、いっそう推進することができた。 ・地元中学への出前授業、地域のイベントへのボランティア参加等により、地域に向けて碧高の姿を発信することができた。 ・業務の精選、意見を言いやすい雰囲気、勤務時間を意識する雰囲気ができてきた。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間調査等により生徒の学習状況を把握し、手帳を活用して学習計画を立てさせることにより、計画性を持って取り組む姿勢を養う。 ・キャリア教育は、インターンシップやキャリアブリッジ、上級学校のオープンキャンパス参加など体験的な活動を進めることで進路意識をいっそう高める。 ・多忙化解消について意見を出し合う場を継続して設けることで、勤務時間に対する意識やコミュニケーションによる協働意識を醸成する。
その他、学校関係者から出された意見、要望	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に関しては、ルールやマナーを守らせ、事故のないよう指導を徹底してほしい。 ・教員、生徒（総合ビジネス科）が行う出前授業はたいへん好評で、碧南高校に対する良いイメージ醸成に有効である。 ・総合ビジネス科が地元企業と共同で行った商品開発は、パッケージに高校名も入り、地域とのつながりを強めるのに役立っている。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<p>1 構成…学校評議員 5 人</p> <p>2 評価時期…令和 2 年 1 月</p>